

20万5千人の署名を国会へ提出

「骨髄バンクの安定的発展と患者の経済的負担軽減を求める請願」

全国協議会 ニュース

発行所
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者
渡辺 孝一
http://www.marow.or.jp/
E-mail:info@marow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655

全国各地の皆様のご協力により第2次集約分が20万5千人分集まりました。

2月13日陽田委員長他4名が衆議院と参議院の議員会館に出向き、骨髄バンクを支援する若手国会議員のメンバーと各地からの紹介議員(21名)に請願書(署名)を手渡し、署名提出の紹介議員になって頂きました。



陽田委員長から河村たかし氏(紹介議員)に署名を渡す

提出に先立ち2月7日千葉の会のメンバーが全国各地から送られてきた署名用紙の集計を行いました。集計場所には連日ミカン箱・封筒に詰められた署名用紙が箱々と集まりました。

したが、集められた方の気持ちが伝わって来ました。各地から送られてきた署名の集計方法が、マニュアルと違う物が全体の4分の1ほどあり、手直しに手間取りました。次回提出の際はご配慮下さい。



署名とりまとめは千葉の会が担当(2月7日)

皆様から送られてきた署名が採択(2月16日第457号衆議院にて請願書受領されました)され、よりよい骨髄バンクの発展と、補助金がカットされないよう願います。(山村)

骨髄バンクのネットワーク化に向け 活発な討論

2月21日公開シンポジウム

公開シンポジウム「骨髄バンクのネットワーク化」が全国協議会の主催(加盟12団体の共催)により、2月21日東京・大手町のJABビルホールで開かれました。



シンポジウムでは、まず9つの骨髄バンクの代表者から、組織の現状、採取方法、保存状況、移植実績などについて報告されました。

つぎに「各地の取り組みから見える課題」として東京大学付属病院長の浅野茂隆氏から問題提起がありました。浅野氏は①骨髄移植との違いを知ることの重要性(表参照)、

心からのご寄付を ありがとうございました

1月27日~2月23日

匿名	現金	50,000円
東北地区歯科医師会事務局員一同	現金	10,000円
荒川輝子	切手	315円
山崎 紗智恵	現金	5,000円
イシワカズオ	現金	20,851円
村上順子	現金	2,880円
匿名	現金	30,000円
鳥取県東部商工会青年部連絡協議会	現金	50,000円
鳥取県商工会青年部連合会	現金	10,000円
尾張地区公立高等学校PTA連合会	現金	50,000円
犬飼毅	切手	64,800円
三股隆	現金	8,042円
ピアノ三重奏(埼玉連絡会)	現金	90,000円

◆佐藤さち子患者支援基金

北海道骨髄バンク推進協会帯広支部	現金	65,887円
中上清吾	現金	1,000円

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
全国骨髄バンク推進連絡協議会

施設別移植数(昨年12月10日現在)

	血縁	非血縁	計
東海大学	4	1	5
横浜市立大学	0	3	3
名古屋第一赤十字病院	1	2	3
三重大学	1	2	3
大阪府立総合病院	2	1	3
神奈川こども医療センター	3	0	3
慶應大学	1	1	2
国立岡山病院	1	0	1
大阪府立母子医療センター	1	0	1
山梨医大	1	0	1
大阪大学	1	0	1
千葉県こども病院	1	0	1
国立がんセンター	1	0	1
九州大学	1	0	1
徳島大学	1	0	1
昭和大学藤が丘病院	0	1	1
九州がんセンター	0	1	1

(「厚生科学研究班」資料より)

野村副委員長を座長に9名のバンク代表者と浅野・小寺両氏、会場からの発言を交えて行われました。主な内容は、①骨髄の採取時期や保存方法の課題、②公的バンクに向けた課題、骨髄バンクとの

各地の 恒例「雪まつり」

一昨年、昨年と続けて参加した「さっぽろ雪まつり」の市民雪像に今年も参加しました。200万人が訪れるという雪まつりはバンクのPRをするにも最適な催し物でしょう。参加資格の抽選会、講習会など諸々の手続きは支部のメンバーが手分けして済ませ、1月30日から実際の雪像作りがスタートしました。委員会から申し渡された期間は5日間。それを3日で作ろうというのです。ナタやマサカリをもって削り



雪像制作中は雪まつり期間ではないのですが、それでも制作中の雪像を見に訪れる観光客は結構な人数になります。中にはカメラを向けて行かれる観光客もあり、PRのひとこととしては、それなりの効果も期待できるでしょう。来年以降もこの企画は続けて行こうと思っています。皆さんも雪まつり期間中來道の

だしの作業をするわけです。初日、3日目は天候にも恵まれ作業も進んだのですが2日目の吹雪には閉口しました。削ったばかりのところを吹き飛ばす雪に覆れどこの作業が進んでいくのかと不安なほどでした。また寒さも厳しくこの日は作業を早めに切り上げることにしました。それでもメンバーの協力の結果、3日目には完成という運びになりました。ただの雪の固まりからマロー博士の雄姿が現れたのです。ダイナミックな姿になっていて、うーっ！参加者の寒さの中での奮闘の結果です。

雪像制作中は雪まつり期間ではないのですが、それでも制作中の雪像を見に訪れる観光客は結構な人数になります。中にはカメラを向けて行かれる観光客もあり、PRのひとこととしては、それなりの効果も期待できるでしょう。来年以降もこの企画は続けて行こうと思っています。皆さんも雪まつり期間中來道の

折りには目を向けてください。(札幌支部雪像制作隊長 三上)

岩手 一関市議会が 政府に意見書

昨年12月一関市議会定例会議において、議員発議により「骨髄移植医療体制の拡充と医師の確保について」が可決され、地方自治法に基づき、内閣総理大臣、大蔵大臣、厚生大臣に対し、次の事項の意見書を提出しました。

- 一、全国の未設置医療機関に、骨髄移植医療施設の設置と専門医師の配置について
- 一、患者や家族の治療支援体制の確立

かかえていることから、国、地方自治体は血液難病患者の命を救うため、積極的に取り組む姿勢が必要であることを強く訴え、全議員に協力を呼びかけました。(小野寺)

栃木 「あやちゃんの贈り物」展を開催

「あやちゃんの贈り物」が浪漫音好(ロマネスク)で開催されました。1月31日には父親の三瓶和義氏の講演が2回にわたりに行われました。父親の穏やかな人柄と亡き娘への熱い思

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

骨髄バンクNOW

- 「中四国骨髄バンク推進連絡会」と「しまねまごころバンク」開催
2月13日島根県松江市において「中四国骨髄バンク推進連絡会」が開催され骨髄バンク関係者が一堂に会し、各行政から「概要報告」日赤データセンターから「昨年12月の土日ドナー登録受付状況報告」があり、各関係者の連携サポート体制について活発な話し合いがありました。
翌日、島根県・島根県難病研究所主催の「しまねまごころバンク」設立式典と記念講演・シンポジウムが開催され、臓器移植と骨髄移植の推進を目指し、正しい普及啓発を行います。来年度より県内10カ所全ての保健所でドナー登録が開始されます。
- 「厚生省研究班」公開シンポジウムの概要
2月6日慶応大病院にて「造血細胞移植と免疫応答に関する研究班」の公開シンポが開催され、研究報告がありました。報告のテーマは次の通りです。
 1. 移植関連抗原群と移植成績
 2. 同種末梢血造血幹細胞移植と造血幹細胞のEX vivo
 3. 骨髄血移植
 4. 海外骨髄バンクとの連携と患者相談窓口の状況

1月末のドナー登録者数、患者登録数及び移植数
[ドナー登録者数 92,073人]
[患者登録者数 1,631人]
[骨髄移植例数 1,407例]

*財団のホームページアドレスはhttp://www.jmdp.or.jp/です(テスト公開中)。
*厚生省研究班「患者相談の電話番号」は03-3355-6888(平日の13:00~17:00)です。

骨髄バンクボランティアダイヤル
フリーダイヤル
バンクに
0120-892-106



いが伝わり、会場で聴く者の心に染み渡りました。どの作品にも夢があふれ、一方望みを果たせなかつた無念の気持ちも感じられて、立ち止まってみる人達の瞳も潤みがちでした。

三瓶さんはあやちゃんのような患者さんに「骨髄移植」という救済への道の理解と協力を得るために、今後も巡回展を続け、また「佐藤さち子患者支援基金」が財政難で残高が乏しいとも語りました。経済的理由で折角の提供が受けられないとしたらこの上もない悲惨なことです。「誰のチャンスも大事にしよう」の言葉を残して82歳で亡くなられたというさち子さん。三瓶氏は佐藤さち子患者支援基金の運営委員でもあります。

千葉 命のつどい

2月1日、千葉市の青葉の森公園芸術文化ホールで元殿さまキングスの多田そうべいさんらによる「命のつどい・ふれ愛こんさーと」が開催されました。当日は琴・三味線・民謡・合唱・歌唱・ハワイアン・パレエなど、ジャンルを越えた市内の19団体が参加して賑やかに行われ、多くの入場者がありました。コンサートの中程では骨髄バンク・ミニシンポジウムのコーナ



ーがあり、多田さんの巧みなトークと小児科医でありながら自ら非血縁者間骨髄移植の経験者でもある早川真名さんの切実な体験談により、骨髄バンクの必要性を訴えることができました。また、千葉の会では会場でのチラシの配布や書籍類の販売の他に署名集めも行いました。特に署名は全国への依頼書の中に含まれてきた未記入欄のある用紙に記入してもらったので、10名署名済みの請願書をたくさん完成することができました。(田中)

神奈川 オークストラと合唱団による支援コンサート



2月7日、市民オーケストラと市民合唱団、合わせて総勢200名の演奏と歌声が、川崎市と神奈川骨髄移植を考える会川崎支部共催のシンポジウム会場に響きわたりました。出演協力いただいたオークストラと合唱団の方々は、ともに音楽を楽しみながら市内での定期演奏会など多彩な実績を残している市民の皆さんです。

コンサートの間に行われた、ドナー経験者・移植経験者・移植医によるシンポジウムにも、多くの団員の皆さんが参加され、大いに盛り上がりがありました。私たちがボランティアは音楽に元気づけられ、また音楽を通して共感しあえる人々に出会えたことは、大きな収穫でした。行政と共に骨髄バンクをPRする上でより身近な市民と手をつなぐことが新しい力になるということも学んだコンサートでした。

り、終了後の反省会まで賑やかに終えることができました。(市川)

愛知 ハートフルコンサート



2月15日、愛知県岡崎市せきれいホールにおいて「第2回えんじえるハートフルコンサート」を開催しました。今回は、第一部として映画「金色のクジラ」の上映会を行い、第二部のコンサートでは、「ぬくもりを伝える和の調べ」として、岡崎宮城会の皆さんを中心に、琴・尺八・胡弓などの演奏をしていただきました。

当日は、中堀由希子さんの母校でもある「光ヶ丘高校」の生徒さんたちをはじめ、とても多くの方に会場のお手伝いをしていただいた中、230名を越える多くの入場者をお迎え、盛況に開催することができました。第一部の「金色のクジラ」では会場の多くの方が、映画の一つ一つの場面に感激・感動し、涙していました。また、第二部の和楽器の演奏では、「荒城の月」「さくら」といった、私たちがよく知っている曲を中心に出曲していただいたという点も、琴や尺八の美しい音色を身近に楽しむことができました。(中島)

奈良 骨髄バンク フェスティバル

「骨髄バンクのシンポジウム」というと、堅苦しく聞こえる人たちが集まり、難しい話を額にしながら進められていくようなイメージがあります。そのため、いちばんに骨髄バンクを知ってもらい、協力してほしい若い人が敬遠されています。骨髄バンクフェスティバル in NARA実行委員会ではタレン

トの河相我聞さんのトークショウ&コンサートで若い人を集め、そこに「始めての一步をふみだす、あなたに」と題したパネルディスカッションをジョイントすることを計画しました。「コンサートを聴きたい人がパネルディスカッションなんてちゃんと聞いてくれるのか?」といった心配をよそに、当日参加した約700人の聴衆は「骨髄バンク、骨髄移植に関わる人たちがなにをきつかけにこのような運動に加わっていったのか」という話に聞き入っていました。

また、ロビーで開催した「白血病と闘った 吉川幸雄 作品展」を熱心に見る人の姿も目立ちました。これまで「骨髄バンクなんて」と思っていた若い人たちに、これが骨髄バンクに関わるはじめての一步となってくれことを期待しています。(奈良の和の会)

関西 関西協会関連の今後の予定

- 3月13日「骨髄バンク近畿地区意見交換会」森ノ宮日赤血液センター
- 3月27日「日本血液学会総会公開シンポジウム」ホテル阪急インターナショナル
- 3月27日「関西協会主催患者・家族懇談会」ホテル阪急インターナショナル
- 4月4・5日「フリーマーケット再彩市場」インテックス大阪
- 5月3・4日「フリーマーケット再彩市場」神戸国際展示場

高知 橋本知事大谷副会長、東さん講演

2月8日、高知市RKCホールで、第6回高知県骨髄移植講演会を開催。高知医大小児科脳口宏助教授(当会副会長)の基調講演「骨髄移植から臍帯血・幹細胞移植について」に引き続き、全国骨髄バンク推進連絡協議会大谷貴子副会長と女優東ちづるさんに



よるトークショーがあり、お二人の華やかな話術が聴衆を魅了した。その後、シンポジウムが開かれた。座長は、県立中央病院高橋功院長(当会顧問) 講演者は、橋本大二郎高知県知事、財

団法人骨髄移植推進財団野田尚子事務局長、大谷貴子副会長、東ちづるさん、県立中央病院依光聖一内科部長(調整医師・当会理事)と下司病院下司考慶院長(当会会長)の6人。部外の出演者は、豪華メンバーで、特に橋本知事の発言は、出席者に深い感動を呼び、今後の運動に大きいインパクトを与えた。

野田事務局長は、さすがに詳しく各種統計を披露し、海外事情を紹介された。参加者は、約500名で、ライオンズクラブ会員の外に、学生や一般人など幅広い階層からの出席者があった。新聞、テレビ、ラジオ等の予告があり、講演会後にも大きく報道されて、骨髄移植に関する認識が、県民に広く浸透できたのは幸いであった。(下司)

遠藤 允の会報づくり講座その①

引用と著作権 「文字編」をひとまず終えたところで、読者からの質問にお答えする。「新聞・雑誌記事や書籍の内容を会報に引用するには、何か条件があるのか」というものだ。

引用と著作権 「文字編」をひとまず終えたところで、読者からの質問にお答えする。「新聞・雑誌記事や書籍の内容を会報に引用するには、何か条件があるのか」というものだ。

引用と著作権 「文字編」をひとまず終えたところで、読者からの質問にお答えする。「新聞・雑誌記事や書籍の内容を会報に引用するには、何か条件があるのか」というものだ。

訂正とお詫び

67号(1月1日発行)の記事で誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。

「命のアサガオ」出版社(ハート出版)の電話番号(誤) 063359016077 (正) 03359016077

送料 ¥210

ハート出版

いのちのあさがお

ドキュメンタル童話シリーズ

綾野まさる作・松本恭子絵

本体1200円

白痴で残った種が骨髄バンク運動の花を咲かせた。

〒171 東京都豊島区池袋3-9-23
TEL. 0429-47-1155 FAX. 47-1076
http://www.j-link.or.jp/heart/

生きてるって シアワセ!

あれから10年。白血病から生還し、ひとりの女性がつかんだ「今」とは!?

「レディース4」(TV東京系)などマスコミ各社、読者より反響続々!

大谷貴子 著

全国骨髄バンク推進協議会副会長

大谷貴子 著

定価/本体価格1300円+税

●お求めはお近くの書店または下記にでもご注文を承ります。

STARTS スターツ出版株式会社

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-1アソレイエ・オオタ3F
☎03-3639-4761 FAX 03-3639-8370(販売部直通)

フジテレビを 見て見ぬふりは やめよう

フジテレビ

フジテレビを 見て見ぬふりは やめよう

フジテレビ